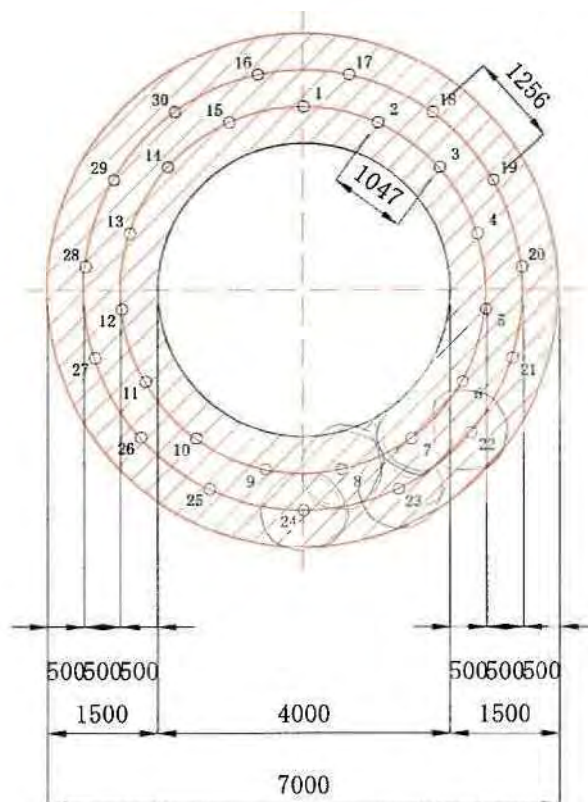
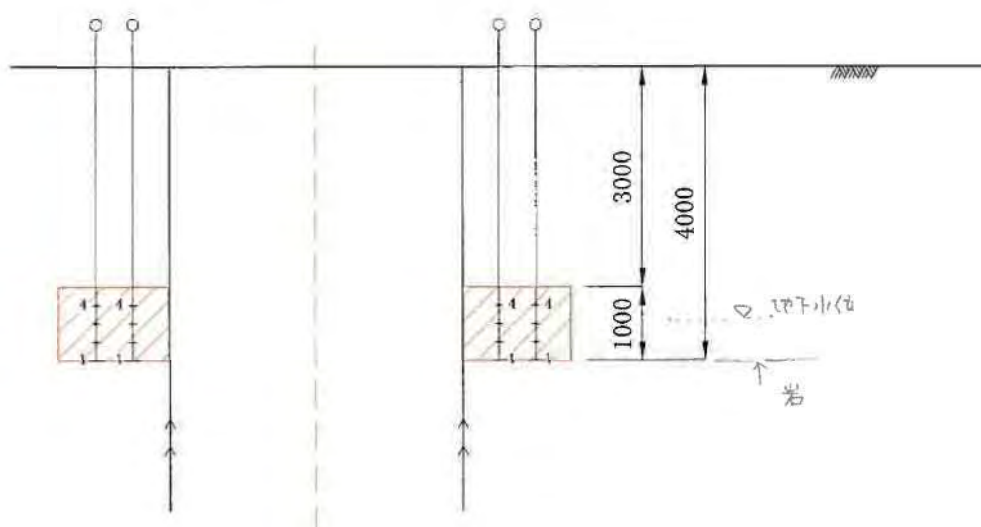


末野立坑 薬液注入施工図 $S = 1/100$

平面図



断面図



ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo

事業・工事名 荒川中部農業水利事業導水幹線その1工事

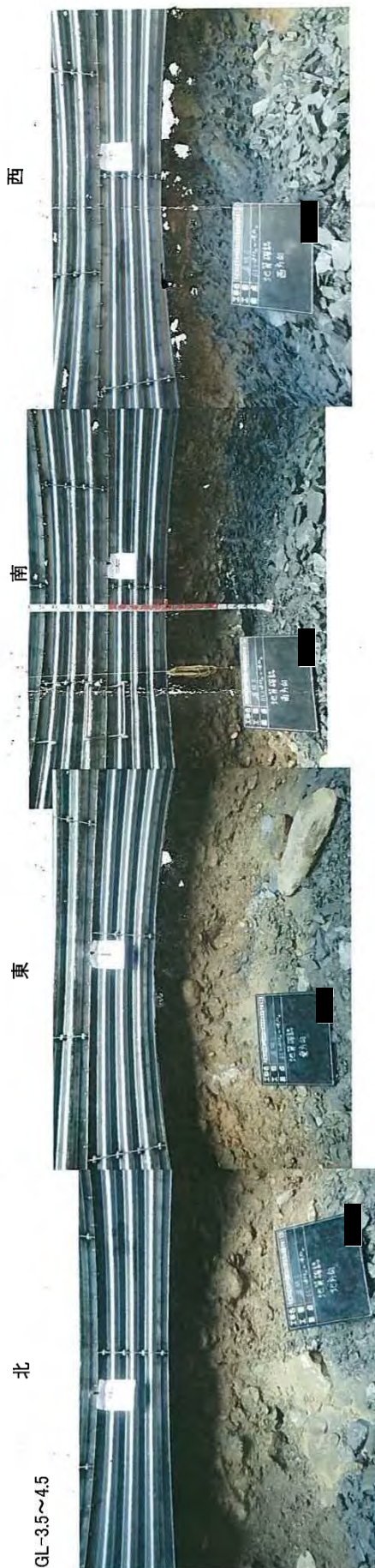
シートNo

ボーリング名	No. 1	調査位置	埼玉県大里郡寄居町大字末野地内 (No. 5+14.1)	北緯	36° 7' 7.26927"
発注機関	関東農政局 荒川中部農業水利事業所	調査期間	平成 29年 8月 16日 ~ 29年 8月 23日	東経	139° 10' 13.53544"
調査業者名					
孔口標高	106.694m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 南 90° 東
総掘進長	16.55m	地盤勾配	鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機 東邦 D0-D エンジン ヤンマー TF-90M ポンプ 丸山 MS-313

標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種	色	硬さ	割れ目の形状	変質	記	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	分	孔内水位 (m) / 測定月日	ルジオン標準貫入 (N値)	試験	原位置試験 (m)	室内試験 (m)	掘進状況	掘進速度 (m/時)	送水圧 (MPa)	送水量 (1/分)	排水量 (1/分)
106.694	0.00		粘土	灰				黄～中砂主体。含水小。弱い圧力で圧縮する。																
104.12	2.50		硬質粘土	灰				400mm程度の塊状砂質。緑色片雲等からなる硬角～中角の塊状で構成される。含水30%。主体に硬く。含水小。中位圧力の可塑性あり。																
103.64	3.00		硬質粘土	灰				黄褐色の硬い中砂主体。含水小～中。帯状で構成される。400mm程度の塊状砂質を呈出する。																
102.72	3.90		硬質粘土	灰				400mm程度の塊状砂質主体。塊状は緑色片雲。黄褐色片雲。黄褐色化の傾向を呈するが、塊状砂質と区別される。																
100.80	5.80		硬質粘土	灰				2.0～5.0mm 粒状砂質の緑色片雲と硬質砂質を呈する。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																
100.30	6.30		硬質粘土	灰				5.0～8.0mm 粒状砂質。																
100.04	6.65		硬質粘土	灰				6.0～8.0mm 粒状砂質。黄褐色～灰褐色の硬質砂質を呈す。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																
95.59	11.10		硬質粘土	灰				6.65～11.10mm 粒状砂質 (黄褐色) と硬質砂質の硬質砂質を呈す。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																
95.34	11.35		硬質粘土	灰				11.10～11.35mm 粒状砂質。コア形状がすべし。軟質。黄褐色コア。																
91.84	15.51		硬質粘土	灰				11.35～15.51mm 粒状砂質 (黄褐色) と硬質砂質の硬質砂質を呈す。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																
90.84	15.95		硬質粘土	灰				11.35～15.95mm 粒状砂質 (黄褐色) と硬質砂質の硬質砂質を呈す。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																
90.37	16.32		硬質粘土	灰				11.35～16.32mm 粒状砂質 (黄褐色) と硬質砂質の硬質砂質を呈す。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																
90.14	16.55		硬質粘土	灰				11.35～16.55mm 粒状砂質 (黄褐色) と硬質砂質の硬質砂質を呈す。黄褐色の塊状10～20mm程度の片雲を呈し。黄褐色～灰褐色。片雲は砂質。2.0～5.0mm 粒状砂質。2.0～5.0mm チャート層等が存在。この層は緑色砂質の硬質砂質を呈す。																

薬液注入範囲





GL-3.9mで岩着

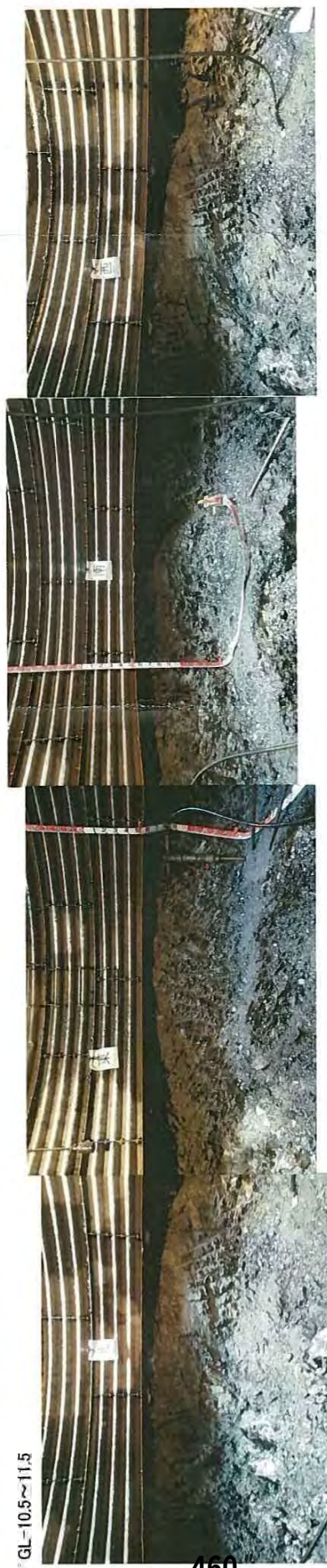
岩盤



458







西

南

東

北

GL-12.5~13.5



GL-13.5~14.5



GL-14.5~15.5



GL-15.05



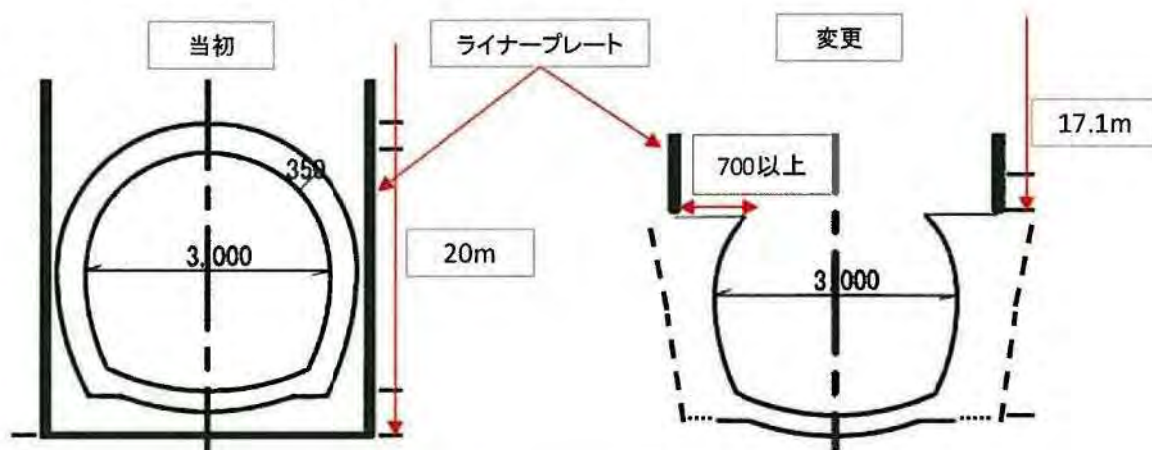
トンネルの影響が
緩み傾向が強い

1. 工 事 名 荒川中部農業水利事業 導水幹線その1工事

2. 協議項目：①立坑土留工について

3. 変更・協議内容：

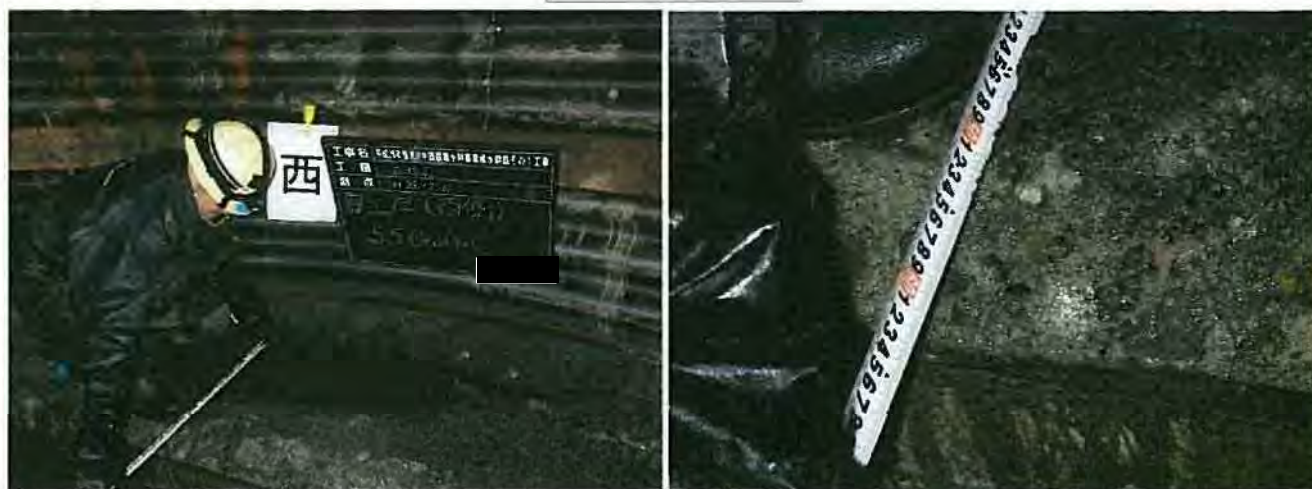
①立坑土留工のライナープレート長について



1. 背面地山の状況は、ボーリングコアや上位部の岩質と同様、劣化しておらず硬い岩である。
覆工コンクリートと地山の境目の判断も難しく、側壁部は地山と一体化していると考えられる。
 2. 既設トンネル覆工の厚みが500～700mm以上あり、当初計画の厚みより2倍近い状態であった。
コンクリート自体も劣化はなく、強固であると考えられる。
- 以上のことを踏まえ、強固なコンクリートを取り壊してライナープレートを取り付ける必要はなく、ライナープレート長を17.1mとしたい。

(ライナープレート 500mm/枚×34枚=17,000mm、補助リング9mm/個×10箇所=90mm)

西側コンクリート厚



北側コンクリート厚



東側コンクリート厚



南側コンクリート厚



末野立坑 施行写真



番号: 1

末野立坑

トンネル内面補強

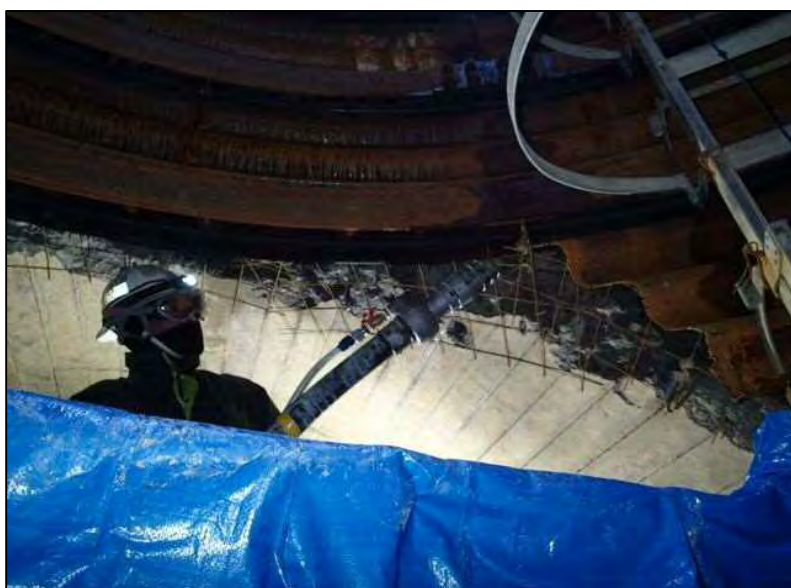


番号: 2

末野立坑

トンネル断面鏡切り

内空断面でラーナープレート切断



番号: 3

末野立坑

立坑接続部補修

末野立坑 施行写真



番号: 4

末野立坑

末野立坑

立坑接続部補修



番号: 5

末野立坑

立坑接続部補修



番号: 6

末野立坑

立坑底部 側部コンクリート打設